

2020年10月新着情報



海外／国際機関で行われている／行われた興味深いイベント 取り組み

- **国連:国際高齢者デー記念イベント**
 - <http://www.ngocoa-ny.org/newsflash-flyers/learn-more-about-unidop/>
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/international-day-of-older-persons-homepage/2020unidop.html>
 - 10月1日の国際高齢者デーを記念して、世界各地でイベントが開催された。まず、高齢化に関するNGO委員会が他団体と共催したバーチャルイベントが挙げられ、NGOや国連加盟国、学術研究者、市民団体などの代表者が登壇した。プログラムは上記NGO委員会サイト(1つ目のURL)に掲載されている。上記の国連サイト(2つ目のURL)では、同イベントの動画だけでなく、国連事務総長等からのメッセージや、サイドイベントの情報および動画も掲載している。
- **国連:国際高齢者デー(10月1日)に寄せるアントニオ・グテーレス国連事務総長メッセージ**
 - https://www.unic.or.jp/news_press/messages_speeches/sg/39931/ (英語版と日本語版あり。英語の動画もあり)
 - グテーレス国連事務総長は、国際高齢者デーにあたりメッセージを発表した。まずコロナパンデミックが高齢者に及ぼした影響について触れ、その影響が健康だけでなく権利や福祉といった幅広い面で見られることを明らかにした。そのうえで、高齢者の機会拡大や保健、年金、社会的保護の充実を呼びかけた。また今年の「看護師と助産師の国際年」や「健康な高齢化の10年(2020-2030)」についても述べた。そして、高齢者の声に耳を傾けながら更に包摂的で高齢者に優しい社会を築いていく必要性を訴えた。
- **【コロナ関連】国連:コロナ禍およびコロナ後における高齢者の権利と尊厳の推進:東欧・中央アジアでの国連の取り組み開始**
 - <https://www.un.org/development/desa/ageing/uncategorized/2020/10/promoting-the-rights-and-dignity-of-older-persons-during-covid-19-and-beyond/>
 - コロナパンデミックによって、高齢者の権利と健康に注目が集まったほか、より広範な影響(医療へのアクセス不足、施設での虐待、貧困、失業、孤立、差別など)も浮き彫りとなった。このパンデミックでの学びを基に、高齢者の権利や尊厳を支える政策を変えていくことが重要である。10月1日の国際高齢者デーに国連人口基金は、WHO、UNECE、その他市民団体等と共に、高齢化に関する新たなプログラムを立ち上げた。このプログラムの目的は、欧州および中央アジアにおいて、保健・社会的ケア・高齢者に優しい環境を通じて高齢者の権利や尊厳を支えることである。このプログラムでは今後3年間(2023年まで)にわたり、国連諸機関と市民社会団体等が連携し、東欧および中央アジアの政府と密に協力しながら、地域や国レベルで以下の取り組みを行う予定である。
 - ◇ パンデミックへの準備や緊急対応の強化(主にコロナ対策)

- ◇ パーソンセンタードの統合ケア提供支援(アフターコロナ)
- ◇ 高齢者の人権推進や参加型の環境作り



海外での興味深い取り組み・ニュース

- **欧州:インフルエンザ予防接種を受けた高齢者は 41%**
 - <https://ec.europa.eu/eurostat/web/products-eurostat-news/-/DDN-20200915-1?inheritRedirect=true&redirect=%2Feurostat%2Fnews%2Fwhats-new>
 - EU 諸国では、一般市民のインフルエンザ予防接種に関する政策が国ごとに大きく異なるが、多くの場合は高齢者やハイリスクの人たちへ重点的に行われている。EU 諸国では 2018 年現在、65 歳以上でインフルエンザ予防接種を受けたのは 41%だったが、その実施率は各国で大きく異なった。実施率が高かったのはアイルランド(69%)、オランダ(63%)、ベルギー(59%)などだが、一方でラトビアではわずか 8%だった。
- **欧州:EU 地域の平均余命**
 - <https://ec.europa.eu/eurostat/web/products-eurostat-news/-/EDN-20200930-1?inheritRedirect=true&redirect=%2Feurostat%2Fnews%2Fwhats-new>
 - 2018 年現在、EU での平均寿命(0 歳時の平均余命)は 81.0 年であり、女性(83.7 年)のほうが男性(78.2 年)よりも 5.5 年長かった。EU で女性の平均寿命が最も長かった地域のうち、トップ 10 はどれもスペイン(7 か所)かフランス(3 か所)の地域だった。男性の平均寿命が最も長かった地域の中には、イタリアの北部や中部が含まれる。また同年における EU での 65 歳時平均余命は、20.0 年だった。65 歳時平均余命が長かった地域の多くもまた、スペインやフランス、イタリアに見られた。他方、65 歳時の平均余命が短かった地域の多くは、東欧やバルト海沿岸諸国に見られた。
- **英国:「エイジ・ポジティブ・アイコン」コンテスト開催**
 - <https://www.ageing-better.org.uk/news/age-proud-icons>
 - 社会でエイジングや高齢者を表すシンボルやアイコンを見直すために、The Centre for Ageing Better は Public Health England (PHE) の支援を受け、無料のオンラインコンテストを開催することとなった。杖や腰の曲がった姿など、よく見られる高齢者のシンボルに挑めるような新たなアイコンづくりを目指したこのコンテストでは、「エイジ・ポジティブ」なデザインを募集している。他のアイコンと同様に、デザインはシンプルで分かりやすく、報告書や発表などで使えるようなものが求められる。受賞したアイコンは、The Centre for Ageing Better だけでなく幅広く利用できるようにする。作品の募集は 9 月 10 日から 10 月 16 日までで、受賞者発表は 10 月末の予定。
- **【コロナ関連】英国:ELSA(イングランド・エイジング縦断調査) COVID-19 に関する下位調査**
 - <https://www.elsa-project.ac.uk/covid-19>
 - ELSA の COVID-19 に関する下位調査では、コロナ危機がイングランドの高齢者に及ぼす影響を分析している。この調査は ELSA 対象者(全員 50 歳以上)1 万人以上を対象としており、コロナ危機における自身の経験について質問した。第 1 回調査は 2020 年 6-7 月に行われ、第 2 回

目は11月初旬に実施予定である。上記 URL からは、第1回調査データに基づくいくつかの報告書をダウンロード可能。テーマは経済的影響、自己隔離の影響、コロナと多疾患罹患、介護やボランティア活動などである。

- **【コロナ関連】米国:CMS がナーシングホーム訪問に関する勧告を更新(9/17)**
 - <https://patientengagementhit.com/news/cms-nursing-home-visitation-advisory-targets-social-isolation>
 - <https://www.cms.gov/files/document/qso-20-39-nh.pdf> (CMS 勧告)
 - メディケア・メディケイドサービスセンター(CMS)は9月17日、ナーシングホーム訪問に関する勧告の最新版を発表した。ここでは特に、屋外における訪問を推進し、入居者の社会的孤立への対応を呼びかけている。CMS によると、屋外では距離の確保や換気が行いやすく、コロナの感染リスクが比較的低いとされている。またナーシングホームでの訪問制限は両刃の剣であり、入居者の社会的孤立や満足度にも影響を及ぼす、と CMS 代表は述べている。
- **【コロナ関連】米国:コロナパンデミックで退職後に向けた経済的準備に影響**
 - <https://www.cnbc.com/2020/09/14/americans-are-forced-to-raid-retirement-savings-during-the-pandemic.html>
 - <https://financebuzz.com/retirement-survey-2020>
 - コロナパンデミックによる不況で生活が苦しくなる中、退職後の蓄えを中止したり、その蓄えに手を出さざるを得ない人々が増えている。2020年7月に成人1000人を対象に行われた調査では、3割近くの人々が、コロナ不況によって貯蓄を減額したり中止したりしていた。消費者の多くはまた、貯金を切り崩してもいた。
- **米国:アルツハイマー病について不安を感じている人は多いが、初期の症状について知っている人はほとんどいない(9/22 発表)**
 - <https://www.usatoday.com/story/news/health/2020/09/24/alzheimers-americans-dark-dementia-symptoms-survey-says/3504031001/>
 - <https://www.mdvip.com/about-mdvip/press-room/study-finds-many-americans-dark-about-dementia-and-alzheimers-disease-uncovers-how-pandemic2>
 - MDVIPと Ipsos が実施した全国調査によると、多くのアメリカ人は認知症やアルツハイマー病について間違った知識を持っており、半数近くが「Brain Health IQ (※) (脳の健康 IQ)」テストで不合格だった。認知症やアルツハイマー病のリスクを減らしたいと述べた人は全体の8割だったが、年齢と遺伝子以外のリスク要因(例:難聴、糖尿病、睡眠不足、精神的健康)について、大半の人が知らなかった。また回答者の70%は、予防方法について十分知識がないことを自覚しており、この点でのニーズが示された。
(※)Brain Health IQ のサイト
<https://www.mdvip.com/brain-health-iq-quiz>
- **【コロナ関連】シンガポール:スマホ不要のコロナ追跡ツールを発表**
 - <https://www.bbc.com/news/av/world-asia-54206824>
 - <https://www.bbc.com/news/business-54143015>

- シンガポールではコロナ感染拡大を防ぐため、500 万の住民へ Bluetooth の接触追跡ツール配布を開始した。このツールは、3 月に発表された既存追跡アプリのハードウェア版であり、ネックストラップに付けたり持ち歩いたりできる。スマホを持たない高齢者の間で人気が出ると見られる。またこのツールによって、会議や大会を再開できるようになるほか、映画館やジムなどリスクの高い場所での追跡機能が改善され、経済の更なる再開につながるよう政府は期待している。

● **オーストラリア:市民団体等が共同で、高齢者ケアの未来に向けたキーポイント 10 点を提示**

- <https://nationalseniors.com.au/news/media-release/media-release-consumer-groups-outline-10-key-points-for-the-future-of-aged-care-in-australia>
- <https://nationalseniors.com.au/uploads/267X1801.PDF> (メディアリリース)
- コロナパンデミックによって、高齢者ケアシステムの問題が浮き彫りとなったことを踏まえ、オーストラリアの複数の団体(例: COTA Australia, Dementia Australia, National Seniors Australia 等)は共同で、高齢者ケアの未来に向けたキーポイント 10 点を提示した。内容は以下の通り。
 - ◇ 高齢者ケア法の改善
 - ◇ 30 日以内にケアを保証するシンプルなシステム
 - ◇ 消費者の選択に役立つよう、透明性があり分かりやすい指標
 - ◇ 訓練を受け、登録され、資格のある職員
 - ◇ 無償介護者に対する適切な認知と支援
 - ◇ 分かりやすい情報と地域の解決策
 - ◇ 消費者を確実に保護するよう対応できる効果的な監督機関
 - ◇ 包摂的で様々な文化に配慮したサービス
 - ◇ 税金からの財源を確保した資金調達モデル
 - ◇ 高齢者を対象とした他の医療やウェルビーイング関連サービスとの統合改善

● **ニュージーランド:リタイアメントビレッジの入居者と職員が人気歌手の MV を再現**

- <https://www.tvnz.co.nz/one-news/entertainment/auckland-retirement-village-recreates-justin-timberlake-music-video-shot> (ニュース動画。再現したビデオの一部も閲覧可能)
- <https://www.youtube.com/watch?v=ru0K8uYEZWw> (ジャスティン・ティンバーレイクのビデオ)
- コロナパンデミックによって、リタイアメントビレッジがニュースに取り上げられることが増えており、高齢者の脆弱性が浮き彫りとなっている。しかし一般的に見られるビレッジの静まり返ったイメージとは裏腹に、オークランドの Ryman's ホームでは、世界的な人気歌手ジャスティン・ティンバーレイクの「Can't Stop the Feeling」ミュージックビデオ(MV)を入居者と職員で再現したのである。ジャスティンの役を演じたのは元銀行マン。他の入居者や職員たちも練習に練習を重ね、セットも MV そっくりで設営され、見事なビデオが出来上がった。



海外／国際機関で最近発表された法律・規則・提言など

● **中国:全国認知症計画を承認**

- <https://www.alz.co.uk/news/china-adopts-national-dementia-plan>

- 中国では、「ヘルシーチャイナ 2030に向けた行動計画」の一環として、9月11日に全国認知症計画を公式発表した。これで世界34か国が全国計画を承認したこととなる。この行動計画はまず、試験地域へ内部配布された。同計画の内容は、認知症に関するWHOの世界行動計画に記載された7領域をカバーしており、たとえばリスク低減、認知機能低下の予防、家族へのレスパイト提供などが含まれる。同計画では、たとえば世界アルツハイマー月間などの機会も活用して、アルツハイマー病の予防や治療に関する社会的認知度を80%まで向上させることを目指している。
- **【コロナ関連】オーストラリア：高齢者ケア施設入居者の緊急的長期外泊措置を2021年6月末まで延長(9/28)**
 - <https://www.health.gov.au/news/announcements/emergency-leave-for-aged-care-residents-extended-to-30-june-2021>
 - 高齢者ケア施設入居者の緊急的長期外泊措置を、2021年6月30日まで延長する、とコルベック担当大臣は発表した。これによって入居者たちは、社会的目的での外泊権利を使い果たさずに、コロナ禍の中で緊急的な長期外泊(例：家族と生活など)ができるようになる。入居者が外泊中も、施設は引き続き支払いを受け、入居者も事業者も不利益を被らないようになっている。



**海外／国際機関で最近発表された／近日発表される
報告書・ガイドブックなど**

- **世界：World Alzheimer Report 2020: Design, Dignity, Dementia: dementia-related design and the built environment(世界アルツハイマー報告 2020: デザイン、尊厳、認知症：認知症関連のデザインと構築環境)(ADI 報告書)**
 - <https://www.alz.co.uk/news/world-alzheimer-report-2020-design-dignity-dementia-dementia-related-design-and-built-environme>
 - <https://www.alz.co.uk/research/world-report-2020>
 - <https://www.alz.co.uk/u/WorldAlzheimerReport2020Vol1.pdf> (第1巻)
 - <https://www.alz.co.uk/u/WorldAlzheimerReport2020Vol2.pdf> (第2巻：事例。銀木犀など日本の事例もあります)
 - この報告書では認知症関連のデザインについて、これまでの進捗状況やベストプラクティス、先駆者、原則、応用、地域や文化的背景などをカバーしている。グローバルな視点で作成されたこの報告書では、様々な文化や経済的状况に配慮が施されている。またイノベーションの役割や美的側面の重要性についても紹介している。報告書は2巻で構成され、第2巻では80を超える事例が紹介されている。この中には日本の事例も含まれる。
- **OECD 諸国：Global Insights on the Multigenerational Workforce(多世代共生の職場づくりに関するグローバルな知見)(AARP 報告書)**
 - <https://www.aarpinternational.org/resources/global-employer-survey> (概要のほか、インフォグラフィックスなどもダウンロード可能)
 - <https://www.aarpinternational.org/File%20Library/Future%20of%20Work/2020-Global-Insights-Multigenerational-Workforce-IssueBrief.doi.10.26419-2Fres.00399.001.pdf> (概要)

- AARP では 2019 年と 2020 年(コロナパンデミックの最中)に、OECD 加盟 36 か国の雇用者を対象に調査を行った。その結果、多世代共生で包摂的な職場づくりを支えるために必要な変化を主導する上で、雇用者たちが担うユニークな役割が示された。この取り組みで政府も役割を担うが、雇用者たちにもまた役割が存在する。報告書ではまた、多世代共生の職場づくりに向けて雇用者たちが役立つと思う資源や、実施の可能性が高いと雇用者たちが考える取り組みなどについても、結果を紹介している。
- **世界 10 か国: Messages Matter: A Spotlight on Influenza Vaccination Campaigns (メッセージは重要: インフルエンザ予防接種キャンペーンへの注目) (IFA 報告書)**
 - <https://www.vaccines4life.com/changing-the-conversation/>
 - <https://www.vaccines4life.com/wp-content/uploads/2020/09/Technical-Report-Design-Final.pdf> (全文)
 - Changing the Conversation on Adult Influenza Vaccination (成人向けインフルエンザ予防接種に関する対話を変える)は、高齢者や慢性疾患のある人々へ重点を置いたインフルエンザ予防接種に関して、IFA が実施した画期的な調査である。上記の報告書では、予防接種に関する対話について取り上げ、日本を含む世界 10 か国の情報から、予防接種実施率向上に効果的なメッセージを探っている。
- **【コロナ関連】英国: Keeping people safe and supported through the pandemic (パンデミックを通じた安全と支援の継続的確保) (9/16, CQC 報告書)**
 - <https://www.cqc.org.uk/news/stories/keeping-people-safe-supported-through-pandemic>
 - https://www.cqc.org.uk/sites/default/files/20200916_covidinsight_issue04.pdf (全文)
 - CQC によるこの報告書では、様々な医療およびケア提供の場(病院、ケアホーム、GP)における感染予防管理に焦点を当て、成功や失敗からの学びを共有し今後へ活かすことを目指している。たとえばケアホームについては、安全な入居プロセスや訪問者向けの感染予防管理、個人防護具(PPE)の使用について触れている。報告書の後半は、11 か所の統合ケアシステム等に関する provider collaboration reviews(事業者連携レビュー)の結果がまとめられている。報告では、地域住民のニーズ把握(文化的違いを含む)が特に重要であり、また地域事業者の間で既に存在する関係性の質が、統合ケアでの調整や連携で大きな役割を果たしていることが示された。いくつかのベストプラクティスも紹介されている。
- **【コロナ関連】英国: Social Care Sector COVID-19 Support Taskforce: report on first phase of COVID-19 pandemic (社会的ケアセクターにおける COVID-19 支援タスクフォース: COVID-19 パンデミック第 1 段階に関する報告) (9/18, 政府タスクフォース報告書)**
 - <https://www.gov.uk/government/publications/social-care-sector-covid-19-support-taskforce-report-on-first-phase-of-covid-19-pandemic>
 - https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/919161/5_Older_People_and_People_Affected_by_Dementia_Advisory_Group_report_accessible.pdf (高齢者および認知症の人に特化した勧告)
 - COVID-19 への対応として、社会的ケアセクターのタスクフォースが立ち上げられ、2020 年 6 月 15 日から 2020 年 8 月末まで任務に当たった。このタスクフォースは、様々な社会的ケアセクターや政

府の代表から成る。上記報告では、COVID-19 パンデミック第 1 段階の進捗および学びをまとめた上で、政府や社会的ケアセクターへの助言や勧告を行っている。内容としては、たとえば PPE、検査、インフルエンザ予防接種、職員および家族介護者、研修、財源、コミュニケーションなどがカバーされており、利用者や家族の健康やウェルビーイングを向上させながら、できる限り安全な環境を確保するための方法を提示している。全体的な報告書に加え、複数の諮問グループによる個別の報告および勧告も、URL から閲覧可能。

- **【コロナ関連】英国:Adult social care: coronavirus (COVID-19) winter plan 2020 to 2021 (成人向け社会的ケア:2020—2021 年コロナウイルス冬期計画) (9/18, 政府政策文書)**

- <https://www.gov.uk/government/publications/adult-social-care-coronavirus-covid-19-winter-plan-2020-to-2021>

- <https://www.gov.uk/government/news/new-plan-to-help-protect-care-homes-from-coronavirus-over-winter>

- 国(保健省)・地域(自治体および NHS イングランド)・事業者向けのこの計画では、成人向け社会的ケアでの目標および主な活動ガイドラインをまとめており、主に以下 4 つのテーマをカバーしている。

- ◇ ケアの現場における感染予防管理

- ◇ 医療とケアサービスの連携

- ◇ 利用者・職員・介護者への支援

- ◇ システムへの支援

なおこの計画は、あらゆる成人向け社会的ケアに適用される。取り組みにはたとえば以下が含まれる。

- ◇ PPE の無料提供および 5.46 億ポンドの感染管理資金を通じたケアホームへの支援

- ◇ 感染拡大を防ぐため、ケア事業者はケアホーム間での職員異動を必要最低限に抑えなければならない

- ◇ 社会的ケアの看護職でリーダーシップをとる成人向け社会的ケアの看護主任を新たに任命

- **英国:Beyond COVID: New thinking on the future of adult social care (COVID を超えて:成人向け社会的ケアの未来に関する新たな考え)**

- <https://www.scie.org.uk/care-providers/coronavirus-covid-19/beyond/adult-social-care> (全文へのリンクあり)

- COVID-19 は社会的ケアに大きな影響を及ぼした。ケアホームの入居者や職員で多数の死者が出ただけでなく、社会の根深い格差や同セクターの脆弱な財務状態なども浮き彫りとなった。Social Care Institute for Excellence (SCIE)では、コロナでの学びを踏まえつつ、コロナ後を見据えた社会的ケアの未来について検討を行っており、この報告書はその結果をまとめたものである。NHS では、医療での長期計画が役立っており、同様に成人向け社会的ケアでも長期計画が重要な役割を果たすと考えられる。また長期計画は、利用者や介護者、セクター関係者と共に策定すべきである。この計画策定へ役立てるために、この報告書では、直面する課題を克服するために必要な 3 つの戦略的シフトを提示するとともに、その達成の促進に役立つ 21 の案を提示している。

- **英国: Annual Review of Adult Social Care Complaints 2019-20(成人向け社会的ケアの苦情に関する年次レビュー2019-2020)(地方政府および社会的ケアオンブズマン年次報告)**
 - <https://www.lgo.org.uk/information-centre/news/2020/sep/sector-missing-opportunities-to-improve-adult-care-services-ombudsman-reports>(全文へのリンクあり)
 - 成人向け社会的ケアセクターは、苦情からの貴重な学びを更に活かすべきである、と The Local Government and Social Care Ombudsman(地方政府および社会的ケアオンブズマン)は年次レビューで呼び掛けている。このレビューでは、2019-2020年にイングランドの成人向け社会的ケアについて、オンブズマンに寄せられた苦情の傾向を詳しく説明している。受け付けた苦情や問い合わせは計 3,073 件あり、そのうち 69%について詳細な調査が行われた。特に、独立した事業者と個別にケアを手配しているケースでは、件数が少なかった一方で詳細調査を行った割合が高く、今後改善していく余地が見られる。オンブズマンでは政府に対し、社会的ケア改革を活用して、オンブズマンに関する利用者への情報提供を事業者に義務づけるよう呼び掛けている。

- **【コロナ関連】英国:Homes, health and COVID-19(自宅、健康、コロナウイルス)(Centre for Ageing Better & Kings Fund 報告書)**
 - <https://www.ageing-better.org.uk/publications/homes-health-and-covid-19>
 - <https://www.ageing-better.org.uk/sites/default/files/2020-09/Homes-health-and-COVID-19.pdf> (全文)
 - この報告書では、特に冬期のロックダウンによって、劣悪な住宅環境がコロナのハイリスク該当者へ及ぼす影響についてまとめている。イングランドでは、健康などに影響を及ぼす劣悪な住宅が 430 万件あり、その住民は 1,000 万人にのぼる。このような住宅に住む人の大半が、高齢者を含むハイリスクの人たちや低所得者である。住宅問題で多く見られるのは湿気と寒さであり、共に健康へ大きな影響を及ぼすものである。コロナによる経済的なプレッシャーによって、住民が必要な改修を行っていくことができず、また光熱費の上昇によって経済的負担増や貧困問題にもつながる可能性がある。Centre for Ageing Better では政府に対し、ハイリスクグループへ必要な支援(例:信頼できる情報提供や各支援先への案内、経済的支援、家主との協働)を保障するよう呼び掛けている。

- **【コロナ関連】英国: Learning from lockdown: Priorities for the future(ロックダウンからの学び: 将来に向けた優先事項)(Centre for Ageing Better 報告書)**
 - <https://www.ageing-better.org.uk/news/action-support-50-70s-crucial-building-uks-resilience-post-pandemic>
 - <https://www.ageing-better.org.uk/sites/default/files/2020-09/Learning-from-lockdown-report.pdf> (全文)
 - 50-70 歳の人たちは、健康面でも経済面でもパンデミックの影響を大いに受けており、制度の狭間に埋もれるリスクもある。またこの年齢層を支援することは、社会全体にとっても有益である。この報告書は以前の調査報告に基づいており、パンデミックからの学びに基づいて、国や地方の政府が採るべき行動をまとめている。たとえばその中には、再就職支援、健康増進、地域のインフラ、住宅問題などが含まれる。また雇用者や住宅建設業者、フィットネス業界などに対しても、行動を呼びかけている。

- **英国: Flexible working for over 50s - A toolkit for employers(50 歳以上の人向けの柔軟な就労: 雇**

利用者用ツールキット) (Centre for Ageing Better 報告書)

- <https://www.ageing-better.org.uk/publications/flexible-working-over-50s>
- <https://www.ageing-better.org.uk/sites/default/files/2020-09/Timewise-Flex-Working-toolkit.pdf> (ツールキット)
- <https://www.ageing-better.org.uk/sites/default/files/2020-09/Timewise-Flex-Working-full-report.pdf> (報告書全文)
- 50-60代の就労者はこの10年間で大幅に増えており、全体の1/3は50歳以上である。人々がより長期にわたり働き続けられるようにするためには、柔軟な就労が最も効果的である。コロナパンデミックによって、これまで既に見られていた働き方の変化は更に加速した。この実践的ツールキットでは、雇用者、ラインマネジャー、スタッフを対象に、個別のヒントを紹介している。

● 【コロナ関連】米国: Coronavirus Commission on Safety and Quality in Nursing Homes (ナーシングホームの安全性と質に関するコロナウイルス委員会) (9/16, 第三者委員会最終報告書)

- <https://edit.cms.gov/files/document/covid-final-nh-commission-report.pdf> (全文)
- <https://abcnews.go.com/Health/feds-unveil-plan-reduce-suffering-nursing-home-residents/story?id=73072683>
- <https://apnews.com/dc63932d7aca280feda372459ebd608e>
- ナーシングホームでのコロナウイルス感染拡大が続く中、トランプ政権が立ち上げた独立委員会は、状況改善に向けた勧告を発表した。しかし批評家たちは、この勧告ではケアの質に関する連邦レベルでの基準強化について触れていないため不十分である、と指摘している。4月に立ち上げられた同委員会は、感染症専門家やナーシングホーム事業者、学術研究者、利用者など25名から成り、9月16日に発表された最終報告では、27項目の勧告を提示している。重点となる内容は、全国的な検査、PPEの確保、感染者用の適切なユニット確保などである。報告書ではまた、入居者・職員・家族間のコミュニケーション改善や、正看護師の増員、感染予防専門職の配置、介護職の能力開発、介護インフラの強化も呼び掛けている。報告書の中で委員会は、更に総合的な「持続可能でシステムレベルの変更」がなければ、これらの勧告だけでは次の危機を予防するのに不十分だろう、と指摘している。

● 米国: Long-Term Care Insurance: Recommendations for Improvement of Regulation (介護保険: 規制改善に向けた勧告) (財務省報告書)

- <https://www.marketplace.org/2020/09/23/treasury-report-on-paying-for-long-term-care-of-families-few-solutions-for-families/>
- <https://home.treasury.gov/news/press-releases/sm1090>
- <https://home.treasury.gov/system/files/136/Report-Federal-Interagency-Task-Force-Long-Term-Care-Insurance.pdf> (全文)
- 米国財務省は、介護保険に関する連邦機関間タスクフォースの報告書を発表した。この報告書では、タスクフォースの取り組みについて説明している他、米国における介護保険の規制改革について勧告を行っており、以下4点にまとめられている。
 - ◇ 民間介護保険市場での商品開発とイノベーション
 - ◇ 規制の効率化と調整
 - ◇ 金融リテラシーおよび介護ニーズや介護保険の教育における連邦政府の役割

◇ 介護保険の購入および利用に向けた税制面での追加的インセンティブ
報告書ではまた、それぞれの勧告を実施するのに相応しい政策立案者やその他関係者を挙げている。
この報告書に記載されている分析や勧告作成の大半は、コロナパンデミック発生前に行われており、パ
ンデミックが介護や介護保険に及ぼす本格的な影響は、長期的に出てくることが考えられる。したがって
この報告書は、コロナウイルスが介護や介護保険に及ぼす影響を評価したものではない。

● **【コロナ関連】**オーストラリア: Coronavirus (COVID-19) – 感染拡大を防ぐ6つのステップ(家族・訪問者向け)(Six steps to stop the spread for families and visitors)

- <https://www.health.gov.au/resources/publications/six-steps-to-stop-the-spread-for-families-and-visitors-japanese> (日本語版)
- 4ページのパンフレットとして作成された、高齢者の家族向けの感染予防ガイド。6つのステップ(症状の確認、インフルエンザ予防接種、安全な訪問、子供と訪問する際の注意事項、介護施設での規則、訪問できない場合のつながり維持)について簡潔にまとめている。多言語で出されており、上記は日本語版。

● **【コロナ関連】**オーストラリア: Aged care and COVID-19: a special report(高齢者ケアと COVID-19: 特別報告)(王立委員会報告書)

- <https://agedcare.royalcommission.gov.au/news-and-media/covid-19-report-identifies-immediate-areas-action>
- <https://agedcare.royalcommission.gov.au/sites/default/files/2020-10/aged-care-and-covid-19-a-special-report.pdf> (全文)
- 高齢者ケアに関する王立委員会は、高齢者ケアにおけるコロナパンデミックの影響に関する特別報告書をデイヴィッド・ハーリー総督に提出した。これは2020年8月10-13日に行われた同テーマに関する王立委員会ヒアリングの成果である。報告では、高齢者ケアセクターを支えるために政府が直ちにとるべき以下4つの領域を挙げている。
 - ◇ 外部訪問者を受け入れられるよう十分なスタッフを確保するために、資金を提供する
 - ◇ パンデミックの中で利用者の心身の健康状態悪化を防ぐために、医療関連サービスやメンタルヘルスサービスの提供を増加できるよう、Medicare 給付項目を設ける
 - ◇ COVID-19の全国高齢者ケア計画を発表し、高齢者ケア諮問機関を設ける
 - ◇ 感染管理担当者の任命を事業者に義務付け、また認定された感染予防管理専門職を高齢者ケア施設に派遣するよう手配する